

Xiaomi「MiMo-V2.6-Pro」徹底調査報告

— 特徴・性能・評判・戦略的含意（2026 年 9 月 22 日公開） —

調査基準日：2026 年 9 月 22 日

Claude Fable 5.1

本報告は公開情報（一次ソースおよび信頼できる二次ソース）に基づく。本文中の【確認済み】は一次ソース等で裏取りした事実、【分析】は筆者の評価・推測、【未確認】は本調査で検証できなかった事項を示す。参考文献は文中に上付き番号で示し、末尾に一覧する。

1. 要旨

- **前提は真である。** Xiaomi（小米）は 2026 年 9 月 21 日（UTC）／9 月 22 日（北京時間）に「MiMo-V2.6」系列を正式発表し、旗艦モデル「MiMo-V2.6-Pro」の重み・技術レポートを MIT ライセンスで Hugging Face に公開した^{1,3,6}。名称・公開主体・公開日はいずれも一次ソースで裏取りできる。
- **性能はオープンウェイト最高水準だが最上位クローズドには未達。** 第三者機関 Artificial Analysis の Intelligence Index v4.3.2 で 46 点（Xiaomi 公称 46.32）を獲得し、公開時点でオープンウェイト第 1 位^{5,9}。一方、Claude Fable 5.1 および GPT-6 Astra（各 53 点）とは 5～7 点の差が残る^{6,10}。総パラメータ 1.02 兆・アクティブ 42B のスパース MoE、1M トークン文脈、テキスト・画像・音声・動画のネイティブ全モーダル対応である¹。
- **差別化はコストと透明性、懸念は再現性と来歴。** 出力トークン 100 万あたり 0.87 ドルというフロンティア級では破格の価格、MIT ライセンス、7,000 超の RL 学習環境と訓練コードの全面公開が最大の特徴である^{6,7,8,16}。他方、公称ベンチマークの外部再現が未了であること、Anthropic が指摘する蒸留疑惑、1TB 級モデルの自己ホスティング難度など、未解決の懸念も併存する^{10,13,20}。

2. 前提の真偽検証

2.1 結論

「2026 年 9 月 22 日に MiMo-V2.6-Pro が公開された」という前提は正しい【確認済み】。噂・誤報の

要素は認められない。

2.2 一次ソースによる確認

- Hugging Face 上のチェックポイントは 2026 年 9 月 21 日 15:39 UTC に公開された (MiMo-V2.6-Pro-RL が 15:39:33、MiMo-V2.6-Flash-RL が 15:39:51) ^{1,2}。
- Xiaomi の公式発表および IT 之家の報道は北京時間 9 月 22 日未明（「今日凌晨」）と記載する ⁷。Artificial Analysis はリリース日を「2026 年 9 月 21 日」と記載し ⁵、Xiaomi の告知は「9 月 22 日」である。両者の差は時差 (UTC と UTC+8) による表記差であり、内容の食い違いではない ⁹。
- 公式 X アカウント (@XiaomiMiMo) は 9 月 21 日に「Introducing Xiaomi MiMo-V2.6 — Pro & Flash」と投稿した ³。公式ブログ (mimo.xiaomi.com/mimo-v2-6) は存在するが、動的レンダリングのため本文を直接取得できなかった。ただし内容はモデルカード・報道で裏取りしている ⁴。
- 開発主体は Xiaomi MiMo チーム (小米大模型 Core Team) であり、責任者は元 DeepSeek の罗福莉 (Luo Fuli) 氏である ^{6,7}。

2.3 メディアによる報道

VentureBeat⁶、Unite.AI⁹、TechNode¹⁴、TestingCatalog¹⁵、IT 之家⁷、机器之心・凤凰网科技・新浪・OSCHINA 等の中国メディア¹⁷、日本では gihyo.jp¹⁹が一斉に報道した。なお、発表に先立ち 9 月 15 日から RL 後訓練が公開ダッシュボード上でリアルタイム配信されており、9 月 17 日頃に罗福莉氏が X 上で告知していた ¹³。

3. モデルの特徴・技術仕様

3.1 系列構成と名称の整理

系列名は「MiMo-V2.6」であり、個別モデルは以下のとおりである【確認済み】^{1,2,7,8}。「MiMo-V2.6」という単体モデルは存在せず、系列名と旗艦モデルが同じ重みを指す点に注意を要する ²²。

モデル名	規模 (総／アクティブ)	位置づけ
MiMo-V2.6-Pro (MiMo-V2.6-Pro-RL)	1.02T／42B	旗艦モデル。MIT ライセンスで重み公開
MiMo-V2.6-Flash (MiMo-V2.6-Flash-RL)	309B／15B	廉価版。MIT ライセンスで重み公開

モデル名	規模（総／アクティブ）	位置づけ
MiMo-V2.6-Pro-UltraSpeed	Pro と同一チェックポイント	同一品質で最大 20 倍高速（Xiaomi・IT 之家）。VentureBeat は約 10 倍と報道し食い違いあり
MiMo-V2.6-Distill-Qwen-9B	9B	蒸留版。ローカル・端末用途向け

3.2 アーキテクチャ（公式モデルカード・技術レポート準拠）

項目	内容
基本構造	スパース MoE。ルーテッド専門家 384、うち 8 起動、共有専門家なし ¹
バックボーン	70 層（スライディングウィンドウ注意 60 層／グローバル注意 10 層）、隠れ層 6144、ハイブリッド Attention（局所ウィンドウ 128＋グローバル） ¹
文脈長	1,048,576 トークン（1M）。最大出力 131,072 トークン（VentureBeat は 128K と表記） ^{1,6}
モダリティ	ネイティブ全モーダル（テキスト・画像・動画・音声入力、テキスト出力）。681M パラメータの MiMo ViT 視覚エンコーダ、308M AudioTokenizer＋127M 音声パッチエンコーダを内蔵 ¹
思考モード	あり。API で thinking の有効／無効を切替可能 ⁸ 。Artificial Analysis も reasoning model に分類 ⁵
推論高速化	5 層の MTP（Multi-Token Prediction）speculative decoder（DFlash 方式、1 回の forward pass で後続 7 トークンを予測） ¹
知識カットオフ	公式サンプルコードのシステムプロンプトは「2024 年 12 月」と記載（V2 系と同じ） ¹
事前学習規模	V2.6 については未公表【未確認】。参考：V2-Flash は 27 兆トークン、FP8 混合精度、ネイティブ 32K→256K 拡張 ⁶
パラメータ表示の注意	Hugging Face の自動表示は「524B」だが FP8 格納時の実効値であり、公式仕様は総 1.02T／アクティブ 42B。一部自媒体の「Pro 524B／Flash 159B」は誤記 ^{1,10}

3.3 学習手法（技術レポート）

本リリースの主眼は「RSI（再帰的自己改善）を目指した RL のスケール」にある【確認済み】^{1,6,13}。公表されている要素は以下のとおりである。

- **"You Only RL Once"／MixRL**：コーディング、汎用エージェント、視覚、サイバーセキュリティの検証可能タスクを単一の RL 実行で混合訓練する^{1,6}。
- **完全非同期 GRPO**（Group Relative Policy Optimization）：1 ステップあたり 1,568 プロンプト×16 ロールアウト、3.5～3.7B トークン、最大 1M 文脈で訓練^{1,13}。

- **GRS／GAR**（Groupwise Reward Synthesis／Groupwise Advantage Redistribution）：二値の pass/fail では区別できない「合格解の質」をグループ内比較で採点し、報酬信号を精緻化する¹。
- **リワードハッキング対策**：ビルド成果物・キャッシュ・将来の Git 履歴の除去、ネットワーク遮断、専用"hack agent"による事前スクリーニング。最終実行で確認された不正軌跡は Pro・Flash とも 2%未満で、発見時は報酬をゼロにリセット。MoE ルーターは RL 中に凍結し訓練ドリフトを抑制^{1,13}。
- **MOPD2**（Multi-Prefix Multi-Teacher On-Policy Distillation）：検証困難・主観報酬タスク（ゲーム、3D 等）を教師蒸留で後付け統合¹。

RL 訓練の公開ライブ配信

2026 年 9 月 15 日に開始した RL 後訓練を、公開ダッシュボード（mimo.xiaomi.com/rl/）でリアルタイム配信した【確認済み】^{13,24}。ステップ毎のコスト、トークンスループット、DeepSWE スコア、失敗ログ、23 カテゴリのデータ構成比まで開示しており、主要な米国フロンティア研究所には見られない透明性の水準である【分析】。公開ダッシュボード由来の訓練コストは、Pro が 5 日 7 時間・75.0B トークン・約 262 万ドル、Flash が 3 日 11 時間・81.4B トークン・約 85.4 万ドル、合計約 350 万ドルとされる^{6,11,13}。両モデルとも 30 ステップで、各ステップ約 75.3 万軌跡（ $1,568 \times 16 \times 30$ ）である¹³。VentureBeat は、これが DeepSeek-R1 と MiniMax-M1 の RL コスト合計を上回ると報じている⁶。

3.4 前世代からの変更点

MiMo-V2.5-Pro（2026 年 4 月公開、1.02T／42B、MIT）と比較すると、エージェント系ベンチマークが大幅に向上している【確認済み】^{1,10}。

ベンチマーク	MiMo-V2.5-Pro	MiMo-V2.6-Pro
DeepSWE v1.1	19.0	71.9
AutomationBench	16.0	53.1
Terminal Bench 2.1	65.2	89.9
CyberGym	40.0	94.0
MiMo Code Bench	40.4	63.2
Artificial Analysis Intelligence Index	26	46

系譜を整理すると、MiMo-7B（2025 年 4 月、MIT）→MiMo-V2-Flash（2025 年 12 月、309B、MIT）→MiMo-V2-Pro／Omni／TTS（2026 年 3 月、1T 級、当初プロプライエタリで"Hunter Alpha"として

OpenRouter 上で話題化) →MiMo-V2.5/V2.5-Pro (2026 年 4 月、MIT) →MiMo-V2.6 (2026 年 9 月) となる^{6,21}。

4. 性能・ベンチマーク

4.1 第三者評価 : Artificial Analysis

独立評価として最も重要なのは Artificial Analysis (AA) の Intelligence Index v4.3.2 である【確認済み】。MiMo-V2.6-Pro は 46 点 (Xiaomi 公称 46.32) を獲得し、AA は同規模のオープンウェイトモデルの中央値 (18 点) を大きく上回ると評価している⁵。オープンウェイト全体で第 1 位、総合では約 6 位である^{5,15}。同指標は AA-Briefcase v1.1、GDPval-AA v2.1、AutomationBench-AA、Terminal-Bench 4.0、SciCode、Humanity's Last Exam、GDP.pdf、CritPt、AA-Omniscience、AA-LCR v1.1 の 10 評価で構成される^{5,9}。

- **コスト効率** : 1 タスクあたり 0.13 ドル、全指標の実行コストは 206.66 ドル。kingy.ai の検証によれば、Claude Opus 5 (max effort、51 点) は 1 タスク 5.86 ドルであり、5 点差に対して価格差は約 45 倍である¹⁰。
- **速度** : 出力約 124.5~134 トークン/秒、TTFT (最初のトークンまでの時間) 約 2.3 秒。評価全体で 1.4 億トークンを出力しており、やや冗長との評価がある^{5,10}。

4.2 競合モデルとの比較 (AA Intelligence Index)

モデル	AA Index	備考
Claude Fable 5.1 (Anthropic)	53	クローズド。最上位 ^{6,10}
GPT-6 Astra (OpenAI)	53	クローズド。最上位 ^{6,10}
Claude Opus 5 (Anthropic)	51	クローズド (max effort 時) ¹⁰
MiMo-V2.6-Pro (Xiaomi)	46	オープンウェイト (MIT)。オープン中第 1 位 ⁵
Grok 4.7	46	同日公開。MiMo-V2.6-Pro と同点 ⁶
GLM-5.3 (Z.ai)	45	オープンウェイト ⁷
Grok 4.6 (xAI)	44	⁶
Kimi K3 (Moonshot AI)	44	オープンウェイト ⁷
Gemini 3.8 Flash (Google)	41	⁶
DeepSeek V4.1 Flash	39	⁶
DeepSeek V4.1 Pro	36	⁶

モデル	AA Index	備考
Qwen3.8 Max (Alibaba)	—	MiMo-V2.6-Pro が上回るとされる（数値は本調査で未確認） ⁷

米中フロンティアの観点では、中国オープンウェイト最高の 46 点に対し米クローズド最高は 53 点であり、「差は縮小したが最上位クローズドには未達」というのが公正な評価である【分析】。

4.3 Xiaomi 公称ベンチマーク（自社ハーネス、要留保）

分野	ベンチマーク	MiMo-V2.6-Pro
コードエージェント	DeepSWE v1.1	71.9 (RL 終了時点では 72.57)
	ProgramBench	26.5
	MiMo Code Bench	63.2
汎用エージェント	AutomationBench	53.1
	Toolathon-Verified	76.9
	GDPval-AA 2.1	1673
	Terminal Bench 2.1	89.9
	Terminal Bench 4.0	34.9
	OSWorld-Verified	82.0
	JobBench	62.0
サイバーセキュリティ	CyberGym	94.0
	MiMo Cyber Bench	80.2 (技術レポート) / 81.7 (ローンチページ)
	ExploitBench	47.9
	SEC Bench Pro	66.3
視覚	MiMo VisualCoding	72.3

出典：^{1,10}。数値は出典間で軽微な食い違いがある（DeepSWE は appendix で 71.9、RL 節で 72.57。MiMo Cyber Bench は技術レポート 80.2、ローンチページ 81.7）。

重要な留保：Xiaomi は公式 X 投稿で「大半のエージェントベンチマークで Claude Opus 5 および GPT-5.6 Sol と同等」と主張する³。しかし公式表の 14 共通項目のうち、Pro は Claude Opus 5 に 10 項目で劣後している（Terminal-Bench 4.0 は 34.9 対 49.0、ExploitBench は 47.9 対 70.0、ProgramBench は 26.5 対 37.0 など）¹⁰。すなわち「全面的な同等」ではなく、「オープンウェイトをフロンティア近傍まで押し上げた」というのが正確な評価である【分析】。競合モデルの effort 設定やハーネスは非開示

であり、行間の直接比較はできない。また公称スコアは自社ハーネス・3 回平均によるもので、公開リーダーボードに未提出のものが多く、外部再現待ちである【未確認】。

4.4 その他の独立評価

Artificial Analysis 以外の独立評価（LiveBench、Scale SEAL Leaderboard、LMArena／Chatbot Arena）は、公開直後のため本報告時点で未掲載である【未確認】。LiveBench にはコミュニティから追加要望（GitHub Issue #547）が出ている段階である¹⁰。個別のハンズオンとしては、kingy.ai が OpenCode 上で「MiMo-V2.6-Pro・Claude Opus 5 とも 23 チェック中 23 合格、Pro は約 0.03 ドル、Opus 5 は約 1.03 ドル。Flash は無料枠で 21/23 合格」と報告している。ただし同記事は「各タスク 1 回の実行であり本格的なベンチマークではない」と明示している¹⁰。

5. 提供形態・価格

5.1 API 価格

モデル	入力（USD/100 万トークン）	出力（USD/100 万トークン）	キャッシュ読取
MiMo-V2.6-Pro	0.435	0.87	0.0036
MiMo-V2.6-Flash	0.14	0.28	0.0028
MiMo-V2.6-Pro-UltraSpeed	4.35	8.70	—

出典：^{6,8}。人民元建てでは Pro＝入力 3 元／出力 6 元、Flash＝入力 1 元／出力 2 元、キャッシュ割引 99%⁷。Xiaomi は「同等知能で海外モデルの 1/20～1/60 の価格」と主張する⁷。

VentureBeat の集計（100 万トークンあたりの入出力合計）によれば、MiMo-V2.6-Flash が 0.42 ドル、MiMo-V2.6-Pro が 1.305 ドルであるのに対し、Claude Opus 5 は 30 ドル、GPT-6 Astra は 60 ドル、Grok 4.7 は 8 ドル、GLM-5.3 は 5.80 ドル、Kimi K3 は 18 ドルである⁶。

5.2 提供チャネル

重みは Hugging Face（MIT ライセンス）および ModelScope にミラー公開^{1,2}。API（api.xiaomimimo.com）、MiMo AI Studio、MiMo Code、MiMo Desktop（Windows／Mac）正式版、OpenRouter で提供される^{7,8}。同時に 7,000 超の RL 学習環境、エンドツーエンド RL 訓練フレームワーク、軽量ハーネス、蒸留モデル MiMo-V2.6-Distill-Qwen-9B も公開された^{7,16}。

5.3 Xiaomi 製品への搭載

MiMo は Xiaomi の「人車家全生態 (Human×Car×Home)」戦略のキーAI モデルと位置づけられ、金山 (Kingsoft) と連携した MiMo Claw、MiMo Desktop、TokenPlan 会員 (月 14.9 元の限定特価) で旗艦モデルが提供される⁷。スマートフォン・車載・IoT への統合が進んでいるが、V2.6 の各製品への具体的搭載状況は本調査では確認できなかった【未確認】。

6. 評判・反響

6.1 中国国内メディア（肯定的トーンが主流）

IT 之家、机器之心、凤凰网科技、新浪、OSCHINA 等が「国産オープンソース第 1 位・AA 指数最高」を大きく報道し、「コード榜トップ 10、価格は海外モデルの端数」といった見出しが並んだ^{7,17}。RL 訓練のライブ配信は「透明化発布」「公開裸奔 (公開ストリーキング)」と表現された^{13,17}。罗福莉氏は X/微博上で、MiMo-V2.6 の研究上の革新と工学的難度は自身が一部関与した DeepSeek R1 をも上回ると総括し、計算資源が極めて希少な状況下でも数十人規模のチームを長期にわたり RL のスケールという一つの目標に専念させたと述べている⁶。

6.2 海外メディア・専門家

VentureBeat は「Better than DeepSeek」の見出しで詳報した⁶。同記事によれば、Carnegie Mellon 大学教授で Ai2 研究員、量子化ライブラリ bitsandbytes の作者である Tim Dettmers 氏は、Flash について 300B~550B クラスで最良と感じられ、DeepSeek v4.1 や GLM 5.3 Flash より良いと X 上で評価した⁶。TechNode¹⁴、Unite.AI⁹ も客観的に報道し、日本では gihyo.jp が「Xiaomi、AI モデル『MiMo-V2.6』Pro/Flash をオープンウェイトで公開」と報じた¹⁹。

6.3 開発者コミュニティ

- **Hacker News** (投稿者 volf_、596 ポイント超) では透明性への称賛が主流である。ユーザー rao-v は、訓練のリアルタイムダッシュボードが学習・教育ツールとして優れ、うまくいかなかった項目まで含めて方法論を包括的に共有していると評価した。ユーザー GodelNumbering は、1T 規模の Pro が 2.8T パラメータの Kimi K3 を 15 ベンチマーク中 14 で上回っている点に驚きを示した。一方、user43928 らは「Opus 5 が Astra/Fable 5.1 を上回るベンチマークは信用しない」とベンチマーク全般に懐疑を示した¹²。

- **X 上の専門家**：Teortaxes (@teortaxesTex) は「フロンティアはむしろ新たな上位ティアに分岐し、内部モデルや最上位クロードは依然として大きく先行している」として『差は縮小』論に反論した（AINews による帰属付き要約であり、逐語は未検証）¹¹。Hugging Face の関係者（Clément Delangue、Victor Mustar、Elie Bakouch）は MIT ライセンスと RL 環境の公開を高く評価した¹¹。

6.4 批判点・懸念点

- **ベンチマークの再現性**：Xiaomi 公称のエージェント系スコアは自社ハーネス・3 回平均であり、公開リーダーボード未提出のものが多く、外部再現待ちである¹⁰。
- **蒸留疑惑（重要）**：Anthropic の 2026 年 9 月脅威インテリジェンス報告は、中国系 AI 研究所による Claude の蒸留を指摘し、Xiaomi/MiMo を名指ししたと報じられている。The Hacker News の報道によれば、事案「GTG-16008」として、2026 年 3～4 月の 20 日間に 40 万件超のやり取りが観測され、Xiaomi が OpenClaw・OpenCode のコーディングハーネス経由で自社 MiMo モデルのユーザー会話・コーディングセッションを Claude に再送したとされる²⁰。ただし Anthropic は利害関係者であり、対象時期は V2/V2.5 期で V2.6 の直接証拠ではない【分析】。また、訓練ダッシュボードに「Claude Distill Requests: hidden」との項目が観測されたとの報道もある¹³。
- **自己ホスティングの難度**：Pro（8bit で実質 1TB 級）はマルチ GPU ノードが必須で、SGLang/vLLM で特定のテンソル並列設定を要する。ローカル用途には 9B 蒸留版が用意されている^{1,10}。公開当日の OpenRouter 配信は不安定で、Pro が一時約 7 トークン/秒（Xiaomi API の約 130 トークン/秒と乖離）との観測もあった^{8,10}。
- **サイバー能力の両義性**：CyberGym 94.0 のモデルが MIT ライセンスで公開されることは、防御側に有用である反面、脆弱性解析能力が API 側の安全弁なしに拡散するリスクを伴う【分析】。
- **配信の演出性**：ライブ配信は透明性であると同時にマーケティングでもあり、「検証済み構成の実行フェーズを見せけている」に近いとの指摘がある²³。

7. 戦略的位置づけと今後の影響

7.1 Xiaomi の戦略における位置づけ

MiMo は「人車家全生態」戦略のキーAIである【確認済み】⁷。IT 之家（2026 年 3 月 19 日）の報道に

よれば、雷軍（Lei Jun）氏は春季新品発表会で今後 3 年間に AI 領域へ 600 億元超（本年の AI 研究開発・資本投入は 160 億元超）を投じると明言し、Core Team を平均年齢 25 歳、清華・北京大学出身者が 6 割超のチームとして紹介した¹⁸。V2.6 は Xiaomi 自身により「RSI（再帰的自己改善）経路の重要な一歩」と位置づけられている⁷。

7.2 中国フロンティアモデル勢力図

DeepSeek（極限の単トークンコスト）、Qwen（オープンソースエコシステム）、GLM（マルチモーダル・エージェント）、Kimi（超長文脈）、MiniMax、ByteDance Seed、Tencent Hunyuan が競合する中で、Xiaomi は 2026 年 3 月の V2-Pro で「国内第一梯队」入りし、V2.6 でオープンウェイトの最前列に立った【分析】。ただし AA 指数 45～46 点帯は GLM-5.3、Kimi K3、Qwen3.8 Max と僅差の混戦であり、優位は薄い【分析】。

7.3 米中フロンティアモデル格差

AA 指数で中国オープンウェイト最高 46 点に対し米クローズド最高 53 点で、5～7 点差。コスト効率では中国側が 20～60 倍優位である^{6,7}。Teortaxes 氏の指摘のとおり、公開モデル間の差が縮んでも、最上位クローズドや非公開の内部モデルとの間には依然として明確な階層差があるとするべきである【分析】。

7.4 日本企業・知財実務への含意

- **利用可能性**：MIT ライセンスで商用利用・改変・再配布が可能であり、オープンウェイトのフロンティア級モデルとしては最も寛容な部類に属する¹。
- **知財・データ透明性リスク**：事前学習データの詳細は非開示であり、Anthropic による蒸留疑惑もあることから、学習データの由来（他社モデル出力の混入可能性）に不透明性が残る。生成物の知財帰属や第三者権利侵害リスクについて自社での評価が必要である【分析】。
- **運用上の制約**：中国サーバの API 利用にはデータ主権・コンプライアンス上の制約が生じうる。重みを用いた自己ホストは 1TB 級で高コストだが、データを外部に出さない選択肢として有効であり、9B 蒸留版は端末・ローカル検証に適する【分析】。

8. 実務上の示唆

- **短期（評価フェーズ）**：「オープンウェイト×低コスト×フロンティア近傍」の代表例として継続監視の対象とする。まずは OpenRouter 経由または Xiaomi API（非機微データに限定）で、エージェント／コーディング系ワークロードの PoC 評価を行う。判断基準は、自社タスクで Claude／GPT 比 85%以上の品質を 1/20 以下のコストで達成できるか、である。
- **中期（自己ホスト検討）**：機微データやデータ主権が問題となる用途では、MIT ライセンスの重みをオンプレミス／プライベートクラウドで自己ホストする選択肢を評価する。1TB 級の Pro はマルチノードが必須のため、まず 9B 蒸留版または Flash（309B）でコスト対効果を検証する。Flash が自社タスクで Pro 比 95%の品質を出せば、Flash 採用で TCO を最適化する。
- **知財デューデリジェンス**：本番採用前に、①モデルカード・技術レポートのライセンス条項を原本で再確認、②生成物の第三者権利侵害・学習データ由来リスクを自社ポリシーに照らして評価、③蒸留疑惑（GTG-16008）の続報を監視する。蒸留疑惑が法的措置やライセンス制限に発展した場合は採用を再検討する。
- **監視すべき指標**：LiveBench／LMArena／Scale SEAL 等の独立第三者評価の掲載（Xiaomi 公称値の再現性の裏取り）、後続モデル（V2.7 等）の動向、Xiaomi 製品への実搭載状況。

9. 留意事項（確認状況一覧）

項目	確認状況	備考
MiMo-V2.6-Pro の公開（日付・主体・ライセンス）	確認済み	Hugging Face・公式 X・AA・複数メディアで裏取り ^{1,3,5,6}
アーキテクチャ・仕様（1.02T／42B、1M 文脈、全モデル）	確認済み	公式モデルカード ¹ 。HF 自動表示 524B は FP8 実効値
AA Intelligence Index 46 点	確認済み	第三者機関による独立評価 ⁵
Xiaomi 公称エージェント系ベンチマーク	要留保	自社ハーネス・3 回平均。外部再現未了。出典間で軽微な数値差 ^{1,10}
LiveBench・SEAL・LMArena 等の独立評価	未確認	公開直後のため未掲載
事前学習トークン数	未確認	V2.6 では未公表
Xiaomi 各製品への V2.6 搭載状況	未確認	「人車家全生態」への統合方針は確認 ⁷
UltraSpeed の高速倍率	出典間で食い違い	Xiaomi・IT 之家「最大 20 倍」 ⁷ 、VentureBeat「約 10 倍」 ⁶
蒸留疑惑（Anthropic GTG-16008）	要留保	利害関係者の主張。対象時期は V2／V2.5 期。V2.6 への直接適用は未確認 ²⁰

項目	確認状況	備考
X 上の専門家コメント（Teortaxes 等）	逐語未検証	AINews による帰属付き要約 ¹¹ 。Dettmers・罗福莉の発言は VentureBeat 経由で確認 ⁶
Xiaomi 公式ブログ本文	取得不可	動的レンダリング。内容は他の一次・二次ソースで裏取り ⁴
r/LocalLLaMA の V2.6 ハンズオン	未確認	公開直後。旧 V2.5/V2-Flash の反応との混同に注意

参考文献

※「URL 未検証」は本調査で当該 URL へのアクセスを検証できなかったもの、「URL 未確認」は出典は報道等で特定できたが個別 URL を確定できなかったものを示す。

- [1] Xiaomi MiMo Team, “MiMo-V2.6-Pro-RL” モデルカード・技術レポート（MIT License）, Hugging Face, 2026 年 9 月 21 日公開 <https://huggingface.co/XiaomiMiMo/MiMo-V2.6-Pro-RL>
- [2] Xiaomi MiMo Team, “MiMo-V2.6-Flash-RL” モデルカード, Hugging Face, 2026 年 9 月 21 日公開 <https://huggingface.co/XiaomiMiMo/MiMo-V2.6-Flash-RL>
- [3] Xiaomi MiMo 公式 X アカウント（@XiaomiMiMo）, “Introducing Xiaomi MiMo-V2.6 — Pro & Flash” 投稿, 2026 年 9 月 21 日 <https://x.com/XiaomiMiMo/status/2102138559952290106>
- [4] Xiaomi MiMo 公式ブログ「MiMo-V2.6」（動的レンダリングのため本文は取得不可。内容は文献 1・3・6・7 で裏取り） <https://mimo.xiaomi.com/mimo-v2-6>
- [5] Artificial Analysis, “MiMo-V2.6-Pro – Intelligence, Performance & Price Analysis”（Intelligence Index v4.3.2）, 2026 年 9 月 <https://artificialanalysis.ai/models/mimo-v2-6-pro>
- [6] VentureBeat, “‘Better than DeepSeek’: Xiaomi’s MiMo-V2.6-Pro debuts as the top open weights model in the world alongside cheaper V2.6-Flash”, 2026 年 9 月 <https://venturebeat.com/technology/better-than-deepseek-xiaomis-mimo-v2-6-pro-debuts-as-the-top-open-weights-model-in-the-world-alongside-cheaper-v2-6-flash>
- [7] IT 之家「小米 MiMo-V2.6 发布：Pro 与 Flash 双版本价格不变，超越 Kimi K3、GLM-5.3 成为当前 AA 指数排名最高的开源模型」, 2026 年 9 月 22 日 <https://www.ithome.com/1/005/496.htm>
- [8] OpenRouter, “MiMo-V2.6-Pro – API Pricing & Providers” <https://openrouter.ai/xiaomi/mimo-v2.6-pro>
- [9] Unite.AI, “Xiaomi’s New Flagship Model Leads Open-Weight Rankings With a Score of 46”, 2026 年 9 月 <https://www.unite.ai/xiaomis-new-flagship-model-leads-open-weight-rankings-with-a-score-of-46/>
- [10] kingy.ai, “MiMo-V2.6-Pro Benchmarks vs Claude, GPT & Open Models”（ベンチマーク検証・OpenCode ハンズオン）, 2026 年 9 月 <https://kingy.ai/blog/mimo-v2-6-pro-benchmarks-specs-comparison/>
- [11] Latent.Space（AINews）, “Xiaomi MiMo-V2.6-Pro 1T-A42B: the new top Open Weights model, trained for \$3M”, 2026 年 9 月 <https://www.latent.space/p/ainews-xiaomi-mimo-v26-pro-1t-a42b>
- [12] Hacker News, “Xiaomi MiMo v2.6” 議論スレッド（投稿者 volf_）, 2026 年 9 月 <https://news.ycombinator.com/item?id=49792730>
- [13] Forkast（Yahoo Tech 配信）, “Xiaomi MiMo-V2.6 Breaks Cover: A 1T-Class Chinese Lab Trains in Public”, 2026 年 9 月 <https://tech.yahoo.com/ai/gemini/articles/xiaomi-mimo-v2-6-breaks-205325620.html>

- [14] TechNode, “Xiaomi open-sources MiMo-V2.6 models after scaling reinforcement learning”, 2026 年 9 月 22 日
<https://technode.com/2026/09/22/xiaomi-open-sources-mimo-v2-6-models-after-scaling-reinforcement-learning/>
- [15] TestingCatalog, “Xiaomi open-sources MiMo-V2.6 Pro and Flash models”, 2026 年 9 月（同社 X 投稿
<https://x.com/testingcatalog/status/2102154984598950128> を含む） <https://www.testingcatalog.com/xiaomi-open-sources-mimo-v2-6-pro-and-flash-models/>
- [16] KuCoin News, “Xiaomi Releases MiMo-V2.6 with Trillion-Parameter Models and 7,000+ RL Environments”, 2026 年 9 月
<https://www.kucoin.com/news/flash/xiaomi-releases-mimo-v2-6-with-trillion-parameter-models-and-7-000-rl-environments>
- [17] 新浪新聞（微博轉載）「小米 MiMo 大模型性能成本分析」, 2026 年 9 月
<https://www.sina.cn/weibo/detail/5345912597253477.html>
- [18] IT 之家（新浪財經轉載）, 小米春季新品發布會における雷軍の AI 投資（3 年 600 億元超）・MiMo Core Team 構成に関する報道, 2026 年 3 月 19 日 ※URL 未確認（本調査で個別 URL を検証できず）
- [19] gihyo.jp 「Xiaomi、AI モデル『MiMo-V2.6』Pro／Flash をオープンウェイトで公開」, 2026 年 9 月 ※URL 未検証
<https://gihyo.jp/article/2026/09/xiaomi-mimo-v2.6>
- [20] The Hacker News, Anthropic 2026 年 9 月脅威インテリジェンス報告（GTG-16008、Xiaomi/MiMo による Claude 蒸留疑惑）に関する報道 ※URL 未確認
- [21] Wikipedia, “Xiaomi MiMo”（モデル系譜の補助的参照。一次ソースで裏取り）※URL 未検証
https://en.wikipedia.org/wiki/Xiaomi_MiMo
- [22] OrcaRouter, MiMo-V2.6 系列のモデル名に関する注意喚起 ※URL 未確認
- [23] explainx.ai, MiMo-V2.6 RL 訓練ライブ配信の性格に関する評論 ※URL 未確認
- [24] Xiaomi MiMo, RL 訓練公開ダッシュボード（mimo.xiaomi.com/rl/）※URL 未検証（報道経由で内容を確認）
<https://mimo.xiaomi.com/rl/>